

[026] 九州大学東洋史論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/25782>

出版情報：九州大学東洋史論集．26，1998-01-25．九州大学文学部東洋史研究会
バージョン：
権利関係：



編集後記

九州大学東洋史論集第二十六号をお届けします。今回は九州大学教授川勝賢亮先生と九州大学大学院の後藤久勝君の二名の論文を掲載しております。例年よりも本数的には少ないのですが、川勝論文は江南市鎮における経済活動を如何に評価すべきかを論じるものであり、筆者の一連の市鎮研究の一端をなすものであります。後藤論文は、交引舗の保任制の理解をめぐるもので、論集では久しぶりの宋代史の論文です。

既に皆様の方にも御連絡さしあげたとおり、九州大学東洋史研究会を改変することになり、多数の方に賛同を頂き、改めて会員となつて頂いております。但し、現在総会を開き役員を決定するには到らず、今後の活動日程も未定のままで、取り敢えず今号は従来通りの『九州大学東洋史論集』の形で発行致しました。既に入会の手続きをされた方には御迷惑をおかけしますが、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

(宮寄 洋一)

九州大学東洋史論集

第二十六号

平成十年一月二十日印刷
平成十年一月二十五日発行

編集兼 九州大学文学部

発行者 東洋史研究会

福岡市東区箱崎

六―十九―一

代表者 川 勝 賢 亮

印刷所 瞬報社写真印刷(株)

福岡市中央区天神五

丁目四―十六

電話(〇九二)七三―三三二